



# 奈良県感染症情報

平成 31 年 第 7 週( 2 月 11 日～ 2 月 17 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 麻しん(はしか)に注意しましょう

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	8.38	(20.38)	↓	↓	↓	↓
2	感染性胃腸炎	5.06	(6.88)	↘	↓	→	↘
3	A群溶連菌咽頭炎	2.00	(1.94)	→	→	→	↑↑
4	咽頭結膜熱	0.62	(0.59)	↑	↗	↗	→
5	RSウイルス感染症	0.29	(0.32)	↘	↓	→	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

## ◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの報告数は先週に続き減少していますが、未だ定点当たり報告数が 8.38 と高い値になっています。手洗いや咳エチケットを心がけ、感染予防に努めましょう。

A群溶連菌咽頭炎や咽頭結膜熱の報告数は横ばいですが、中和保健所管内西部地域では他の地域よりも多くなっています。どちらも、患者の咳やくしゃみによって飛び散る飛沫を口や鼻から吸い込んで感染します。また、患者と握手・だっこなど直接接触した場合や、患者の病原体の付着した手でドアノブ・遊具・手すりなどに触れ、間接的に接触した場合に感染する事があります。手洗い、うがい、タオル・おもちゃの共用は避けるなど、対策を行いましょ。

## ◆ 麻しん(はしか)に注意しましょう ◆

大阪市の商業施設などを中心に麻しん患者の発生が続いています。

麻しんウイルスの感染力は非常に強く、免疫を持っていないければ、麻しん患者と接触した場合、ほぼ 100% 発症すると言われています。

### 症状

感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39 度以上の高熱と発疹が出現します。症状が出る1日前(発疹出現の3～5日前)から発疹出現後4～5日目くらいまでは、周りの免疫が弱い人や免疫がない人に感染させてしまいます。

麻しんを疑う症状が現れた場合は無理に動かずに、事前に医療機関に連絡の上、指示に従い受診してください。

以前麻疹にかかったということが記録等により確かでない方や、ワクチン接種を1回のみしかしていない方は、ワクチン接種を十分検討する必要があります。

大阪市内の商業施設での集団発生に関する情報は下記を参照ください

大阪府 HP: <http://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=33878>

大阪市 HP: <http://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000461659.html>



◆定点把握感染症報告状況◆

平成 31 年 第 7 週 2 月 11 日 ~ 17 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	461 (8.38)	124 (8.86)	82 (5.86)	96 (8.73)	103 (10.30)	12 (6.00)	44 (11.00)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	10 (0.29)		1 (0.11)	3 (0.43)	6 (1.00)			
咽頭結膜熱	21 (0.62)	5 (0.56)	5 (0.56)		8 (1.33)		3 (1.50)	
A群溶連菌咽頭炎	68 (2.00)	9 (1.00)	10 (1.11)	3 (0.43)	39 (6.50)		7 (3.50)	
感染性胃腸炎	172 (5.06)	27 (3.00)	35 (3.89)	52 (7.43)	52 (8.67)	2 (2.00)	4 (2.00)	
水痘	7 (0.21)	2 (0.22)	2 (0.22)	2 (0.29)	1 (0.17)			
手足口病								
伝染性紅斑	5 (0.15)	1 (0.11)	3 (0.33)	1 (0.14)				
突発性発しん	9 (0.26)		1 (0.11)	2 (0.29)	6 (1.00)			
ヘルパンギーナ	1 (0.03)		1 (0.11)					
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	7 (0.70)	3 (1.00)	3 (1.00)		1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)			1 (1.00)				
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

◆全数把握感染症報告状況◆ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核8件(奈良市2、郡山3、中和3)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	ウイルス性肝炎1件(中和1) 侵襲性肺炎球菌感染症2件(奈良市1、中和1) 梅毒1件(中和1) 百日咳1件(郡山1、54歳) 麻しん1件(郡山1)

◆第7週のトピックス◆

◆麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起について(第6報) 大阪市

<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryu/kenko/0000462407.html>

あべのハルカス近鉄本店で複数名の従業員および利用者が麻しんに感染していることが判明しています。麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡の上、指示に従い受診してください。麻しんは、感染すると10日～21日(約10日)後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39度以上の高熱と発疹が出現します。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男			5	10	13	12	11	18	11	7	9	11	35	21	8	11	19	8	10	10	5	234	4995
	女			1	10	12	8	14	16	13	7	10	5	25	3	16	18	18	21	13	10	7	227	5050
RSウイルス感染症	男			1	4					1												6	38	
	女		2	1	1	1																	4	40
咽頭結膜熱	男			1	4	1	2	1	2													11	55	
	女			1	1	3	2	3														10	35	
A群溶連菌咽頭炎	男			1	2	3	9	6	6	4	1	2	4		2							40	200	
	女			2	3	4	4	3	5	1	1	2	2		3							28	186	
感染性胃腸炎	男	3	5	14	6	6	7	8	6	5	2	4	9	2	17							94	783	
	女	2	3	9	8	8	5	8	6	3	2	5	4	2	13							78	732	
水痘	男								1			2										3	37	
	女									2			1	1								4	30	
手足口病	男																						17	
	女																						18	
伝染性紅斑	男			1			2						1									4	17	
	女																					1	12	
突発性発しん	男			2	1																	3	37	
	女		1	1	4																	6	29	
ヘルパンギーナ	男							1														1	4	
	女																						2	
流行性耳下腺炎	男																						3	
	女																						6	
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							
流行性角結膜炎	男			1			1															3	22	
	女			1												1	2					4	17	
細菌性髄膜炎	男																					1	2	
	女																							
無菌性髄膜炎	男																						1	
	女																							
マイコプラズマ肺炎	男																						5	
	女																						6	
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1	
	女																							

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H31 ▲ H30 □ H29 〰 過去10年平均

